

桐生市新里温水プールに係る指定管理者選定基準

評価項目		評価内容	配点
基本方針	管理運営方針	管理運営方針が施設の目的に合致したものとなっている。	
		公の施設の管理運営に対し意欲や熱意が感じられる。	
	地域の中の施設	市民協働、地元還元施設並びに地域との連携の視点がある。	
組織	人員配置・研修体制	施設全体の管理運営を行うための職員体制、研修体制が整っている。	
		地域の人材や、障害者、高齢者の雇用機会が確保されている。	
	団体の経営状況	経営基盤が安定しており、良好な経営状況である。	
	安定した管理運営を担保する実績	温水プールと同種の施設管理運営業務の実績がある。	
官公署等の実績がある。			
管理	事業運営の安全・安定性	事業の運営に必要な知識と資格を持った人材が確保され、無理のない勤務ローテーションにより安全かつ質の高いサービスが提供できる。	
	施設管理の安全・安定性	日常の施設設備の維持管理方法が明確であり、安全・安定的な管理運営が行える。	
	快適な環境・衛生管理	安全で快適な利用のため、環境・衛生管理が行える。	
	危機管理	事故・緊急時等の対応が考えられている。	
	個人情報及び情報公開	個人情報保護や情報公開の取扱いについて配慮されている。	
	公平な施設利用	障害者、高齢者等が利用しやすい管理運営となっている。	
	環境対策	省エネルギー対策やゴミの減量など、環境に配慮している。	
事業サービス	市事業方針との整合性	健康増進及び継続したスポーツ活動を支援する工夫が提案されている。	
	利用者の満足度向上	サービス向上、苦情対応など、利用者の満足度向上が図られている提案となっている。	
		利用者の意見、要望等を集め、運営に反映させる工夫がなされている。	
	利用者の増加対策	利用者の増加、施設稼働率の向上が図られる。	
	事業バランス	一般利用者と自主事業のバランスが妥当である。	
		事業の対象者に偏りが無い。	
事業の具体性	提案の内容が、斬新かつ現実的なものとなっている。		
コスト	提案価格の妥当性	現実的な経費の積算を行っている。	
		適正な提案価格である。	
	具体的経費の削減策	サービスを低下させずに経費を削減する具体的提案がある。	
自主財源の確保策が具体的である等、費用対効果が十分期待できるものとなっている。			
総合評価		評価項目にないその他の優れている点や全体のバランスを評価する。	
合計			